

2019年度

さくらんぼ



10月号

社会福祉法人 舞鶴市社会福祉協議会

舞鶴こども発達支援施設「さくらんぼ園」(Tel.64-5798・FAX62-9171)

さくらんぼ園の前の榎川にペットボトルや空き缶が…。

「暑さ寒さも彼岸まで」という言葉どおり、彼岸に入ると、朝夕は肌寒さを感じるようになってきました。あの暑かった日々が、ずい分前のことだったように思われます。晴れた空には、うろこ雲やいわし雲など、秋の雲が見られるようになってきました。もう、季節は秋です。

さて、毎日車に乗っていると、道ばたに、空き缶やスーパーの袋に入れられたゴミが捨てられているのを見かけることがよくあります。飲み終わったジュースの缶を、ポイッと投げ捨てる人を見たこともあります。

ひと月ほど前のことになりますが、ある日、さくらんぼ園の前を流れる榎川に、ペットボトルやジュースの缶などが、透明の大きなゴミ袋に入れられ、捨てられていました。家(さくらんぼ園)の前にこんな物がほかされているのは気分が悪いので、仕方なく拾ってきて、水道で洗って分別しました。飲み残しがあれば、吸い殻の入ったコーヒー缶もありました。私がしたことは、はたから見れば、いいことをしたと思われ、「立派ですね。」と言われたら、「人として当たり前のことをしてだけです。」と、いっぺんぐらい答えたいところですが、善いことをした後の充実感は、一切ありませんでした。

川にこんな物を投げ捨て、美観を損ねるだけではなく、このまま放っておいたらどうなるのだろうかという考えも、この人にはないのでしょう。要らない物を楽に処分しただけなのでしょう。ほとんどの人が、要らない物があっても、こっそり捨てたいとは思いません。捨てたいと思っても、捨てません。だいたい、ゴミを捨てる人は、どんな人なのでしょう。インタビューをしたら、「めんどくさかった。」「あなたには、めいわくかけてません。」とか答えるのでしょうか。きっと、この人は、人や自然に対する想像力というものがないから、短絡的にこんな行動をするのでしょう。

先日の『舞鶴市民新聞』に、大阪の大学生が、冠島や野原海岸で漂着ゴミの流出地調査をしたという記事が載っていました。一行が集めたゴミは、全体のほんの一部で、冠島では820本、野原海岸では615本のペットボトルを2日間で回収したそうです。海流の関係で、舞鶴には外国からの漂流物があることは知っていましたが、冠島で回収した820本のうち、中国が282本、日本が252本、韓国が203本だったそうです。驚きました。榎川に捨てられていたペットボトルは、そのままにしておけば、舞鶴湾に流れ、海岸に打ち上げられるか、海底に沈むか、日本海を漂流することになるのか、いずれかでしょう。捨ててもよいということは、絶対にないということです。

子どもは、身近な大人(特に親)の行動や言葉の影響を強く受けます。年齢が小さければ小さいほど、そうです。善いことも悪いことも。お子さんと一緒に過ごされているとき、例えば、あきらかに捨てられている空き缶を目にすることがあると思います。そのとき、何も言わずに通る過ぎることもできます。しかし、「こんなことをしたら、あかんなあ。空き缶は、ちゃんとごみ箱に入れる子になってね。」と言ってほしいです。空き缶を捨てる人は悪い人だということを教えるのではなく、当たり前のことを当たり前にできる子になってほしいことを、いろいろな機会に親として伝えていきたいです。人や物に優しい子になってもらうために。

10月もよろしくお願いいたします。

園長 小谷 和弥
職員 一同





療育表



月	火	水	木	金
	1 午前療育 午後療育	2 午前療育 午後療育	3 午前療育 午後療育	4 午前療育 午後療育
7 午前療育 午後療育	8 午前療育 午後療育	9 午前療育 園内研修	10 午前療育 午後療育	11 午前療育 午後療育
14  体育の日	15 母親教室 午前療育 午後療育	16 午前療育 午後療育	17 午前療育 午後療育	18 午前療育 午後療育
21 午前療育 午後療育 母親教室	22 国民の休日	23 午前療育 午後療育 母	24 午前療育 午後療育 親 教	25 午前療育 午後療育 室
28 午前療育 午後療育	29 瀬先生 午前療育 午後療育	30 午前療育 午後療育	31 午前療育 午後療育	

10月の予定

29日(火) 作業療法士 瀬先生来園日
21日(月)～25日(金) 母親教室
④火曜日については、15日に行いますので、お間違いないようにしてください。

山下浩二臨床発達心理士の相談は、随時受け付けています。

年中児の保護者様へ

11月になりましたら、令和3年度に就学される年中児の保護者の方を対象に、就学説明会を実施します。
詳細が決まりましたら、ご案内します。予定に入れて頂き、必ず出席してくださいますようお願いいたします。



10月の母親教室は、『ぬりえセラピー』の体験です。
お気に入りの絵本を持参してください。

“遊具をつかって遊ぼう”

9月6日、作業療法士の瀬裕介先生を招いて保護者学習会を実施しました。

出席していただいた保護者の皆様、ご参加ありがとうございました。

午前の内容は、『うごきづくりのへや』に様々な遊具を設定し、一つずつローテーション形式で体験していくという流れでした。

また、午後の部では、身近にある物(ペットボトル・牛乳パックなど)を利用したおもちゃづくりの体験ということで、お父さんやお母さんたちは集中して製作に取り組み、色や素材など自分でセレクトしながら子どもが遊べるおもちゃが出来上がりました。

保護者の方から、「今の時期だからこそ遊ぶ」という瀬先生の言葉がとても印象に残りました、と感想が寄せられ、実りある学習会であるとともに、私たちスタッフも今後の療育に活かせる充実した時間となりました。



主任 佐藤 育代